

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・来客数の増加、客単価の上昇が1年以上続いている。客の顔色も明るい。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・全体の来客数はそれほど変わらないが、客の年齢層が従来の30代後半～60代から少し若くなっており、若年層の売上が少し増加している。
高級レストラン（スタッフ）		来客数の動き	・一部に前年の愛知万博効果の反動がみられるものの、来客数が着実に増加しており、基調としては良くなっている。	
	やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・明らかに来客数が増加し、販売量も増加している。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・来客数は少しずつではあるが確実に増えている。ギフト商品もまずまずの売上である。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・客は高値でも品質の良い物を買うようになってきており、生活に多少のゆとりが出てきている。
		一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・買い得商品が販売の中心ではあるが、高額商品も動き出している。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・春物衣料が順調に動き、高級ブランドの高額品も好調に推移している。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数が1.3%増加している。
		スーパー（営業担当）	来客数の動き	・既存店の来客数が増加しており、イベントなどへの反応も良い。ただし、競合店の新規開業なども影響し、微増にとどまっている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・客単価はやや低下しているが、来客数は前年比プラスであり、売上は前年をクリアしている。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・大画面薄型テレビが好調で、32インチでも小さいというイメージになってきており、37インチ以上がよく出るようになってきている。洗濯機も17万円程度のドラム型が人気である。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・来客数は例年に比べて増加している。特に定年退職前後の客の来店、購入が増加している。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・客の購買意欲は高まっており、昨年同時期と比べても若干良い。欲しい物は買うという方向になってきており、全体的に良くなっている。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・販売量は減少しているものの、来客数は増加している。
		住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・工場、民間建築物、分譲、持家住宅、賃貸マンション、商業施設が好調である。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・1人当たりの単価が10%ほど上昇している。
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・平日はそれほど変化はないが、特に給料日後の週末の消費は確実に増加している。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・今前半月は、歓送迎会などの団体客が予想以上に多かった。月末は大型連休前のためか人出は減少したが、月の売上は前年比で1割ほど伸びている。
		観光型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・ゴールデンウィーク予約客の利用単価は、かつての勢いを取り戻してきており、好調である。
		都市型ホテル（支配人）	販売量の動き	・今年のゴールデンウィークは、万博開催前の一昨年と比べて、宿泊需要は大きい。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・大口の新入社員研修が入っており、新規の研修も数件入っている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・桜の花見などの季節商品が堅調に売れている。また日帰り旅行や昼食と入浴の旅行商品も需要が多く、売上は伸びている。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・光ケーブル化が進み、インターネット電話の利用も増加している。		
ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・料金単価はまだ厳しいが、ゴルフをしたいという意欲はみられ、利用客は増えている。		
パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数が増加している。		

	住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・多くの会社で社員を積極的に増やしている影響で、社宅確保の相談のため仲介店に来店する件数が増加している。
	住宅販売会社 (企画担当)	来客数の動き	・相談会などのイベントへの来客数は、前年同月比で2割ほど増えている。
変わらない	商店街(代表者)	お客様の様子	・3月の終わりから4月の中旬にかけては良かったが、それ以降は売上につながっていない。客の様子を見てみると、購買意欲は高まっているが、販売増にはつながっていない。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・販売量、客単価、商店街の人通りとも昨年同様であるが、客の様子を見てみるといまひとつ活気がなく、とりたてて良くはない。
	一般小売店 [酒](経営者)	来客数の動き	・週末の人出は多いが、平日の来客数が例年に比べて少ない。自動販売機の売上も平日はやや悪い。全般的には、前年並みである。
	一般小売店[時計](経営者)	来客数の動き	・近隣にあったショッピングセンターが閉鎖したため、以前より集客力は落ちている。
	百貨店(売場主任)	お客様の様子	・例年に比べて寒い日が続く、相変わらず動きは悪い。土日でも来客数は少なく、フロアによっては店員の方が多い売場もある。
	百貨店(企画担当)	販売量の動き	・売上は引き続き前年同月を上回っているが、主力アイテムである婦人服、紳士服の売上の勢いは落ちてきている。輸入高級ブランドの好調など、好要因もあるが、最近数か月のように全てのアイテムが好調という状況ではなくなっている。
	百貨店(外商担当)	お客様の様子	・引き続き、外商顧客への訪問販売の感触、反応は良くなってきている。紳士服の催事でも、男性客の来店が増え、売上は前年を上回っている。
	スーパー(経営者)	お客様の様子	・大型店、小型店の競争がますます激化し、バーゲンハンターが目立ってくるので企業の収益にはつながらない。どこの企業も客の確保に必死である。
	スーパー(経営者)	お客様の様子	・客の買物動向は相変わらず慎重で、客単価も上がっていない。
	スーパー(店長)	単価の動き	・客単価は前年比98%前後で推移している。酒税の増税などもあり、まだまだ買い控えがある。
	スーパー(店長)	単価の動き	・特別大きな単価の変化は感じられない。
	スーパー(店員)	販売量の動き	・売上は、3か月前と比べると変動はない。ただし、前年比では95%前後と、前年割れが3年間続いている。
	スーパー(仕入担当)	来客数の動き	・上旬は気温の寒暖の差があり、また前年に比べ雨の日も多く、集客が悪く売上が減少している。4、5月は物量前年比115%という動きも相場が良く、また競合先との価格競争などもあり売上が伸びている。下旬は催事が好調で売上も持ち直している。客は気に入った物や目新しい物にお金を使う流れが出てきている。
	コンビニ(経営者)	来客数の動き	・2～4月の来客数は10%前後ずつ伸びているが、過去3年間とほぼ同様の伸び方である。
	コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・今月は週末に天候が崩れた日が多く、売上は減少している。それにつられて平日も前年より下回っている。
	コンビニ(エリア担当)	それ以外	・売上の前年割れ状況が継続しており、依然として厳しい状況が続いている。
	コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・相変わらず、売上は前年比95%と低調が続いている。
	コンビニ(売場担当)	販売量の動き	・売上はほぼ前年並みであり、景気が良いという感じが数字には表れていない。
	衣料品専門店(経営者)	単価の動き	・来客数は少し増加しているが、客単価は上昇していない。
	衣料品専門店(企画担当)	販売量の動き	・単価は下げ止まっているが、販売量は増加していない。
家電量販店(経営者)	お客様の様子	・客の様子はまだ非常に慎重で、割安感のあるものをよく探している。	
家電量販店(店員)	販売量の動き	・3月は入学や就職関係で動きが良かったが、4月は落ち着いている。	

	乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・客との会話では3か月前からやや悪い様子が続いており、ゴールデンウィークもお金がないから外出しないという客が大多数である。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・販売量から判断すると、芳しい状況ではない。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・来客数も販売台数もほぼ前年並みであるが、単価は少し下がってきている。高級車が売れないのも一因である。
	自動車備品販売店 (経営者)	来客数の動き	・連休前の整備メンテナンスが少しは入ってきており、3か月前よりも売上は増えてきているが、景気が良いとまでは言えない。
	その他小売 [水産物卸売] (経理担当)	販売量の動き	・問い合わせの電話はあるが、受注にはつながっておらず、様子見の状態が続いている。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・売上は前年比では多少伸びてきているが、ここ3か月間の推移で見ると横ばいである。
	スナック (経営者)	来客数の動き	・週末は歓送迎会の客があるが週初めは少ないというように、客の出入りが例年より激しい。
	その他飲食 [仕出し] (経営者)	お客様の様子	・新年度に入って、気分一新というよりは、財布のひもは逆に固くなっている。
	旅行代理店 (経営者)	来客数の動き	・年初から動きが良く、来客数はかなり増加している。ただし、1、2月の勢いと比べるとやや足踏み状態となっている。
	旅行代理店 (従業員)	販売量の動き	・今年はゴールデンウィークの日並びも良く、長期の海外旅行商品がよく売れている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・前年同月比で、利用者数は5%ほど増加している。
	タクシー運転手	お客様の様子	・今月は寒い日は客の動きが良いが、風が強い日、黄砂が飛ぶ日は減少するなど、良い日と悪い日の差が激しい。
	通信会社 (サービス担当)	お客様の様子	・年度替わりの繁忙期であるが、特に販売額が増加しているわけではなく、例年と同じかむしろ少なめである。
	通信会社 (開発担当)	販売量の動き	・マンションなどから、光通信サービス設置の注文が増えている。
	ゴルフ場 (企画担当)	来客数の動き	・ゴルフシーズンに入り4月中旬から来客数は徐々に増えてきているが、1か月を通して見ると今一歩である。1～4月の4か月間では、前年比、予算比ともやや悪い。
	美容室 (経営者)	お客様の様子	・今まで自分でヘアカラーをしていた人もヘアカラーのために来店するなど、来客数は引き続き増加している。
	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・金利が上がりに始めているため早めに住宅購入したいという客はいるが、売上などへの影響はまだ出ていない。
やや悪くなっている	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・単価は2か月ぶりに上昇に転じたが、購買マインドは逆に冷えてきている。新年度に入り、来客数が減少するとともに、購入への慎重さが目立つ。
	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・3月のグリーン税制改正前の駆け込み需要の反動で、受注台数は前年割れとなっている。
	乗用車販売店 (従業員)	来客数の動き	・今月は客の動きがかなり鈍化しており、土日にイベントを実施しても新規客の来店はほとんどない。
	その他専門店 [貴金属] (店長)	販売量の動き	・販売量が減少し、単価も低下している。ギフト商品売上の伸びもない。
	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・傾向的にはやや上向いているが、波があり、今月だけ見ると特に前月と比べて少し元気がない。
	通信会社 (企画担当)	販売量の動き	・解約数の増加傾向は一段落したものの、新規契約数が減少している。業界の競争も激しさを増している。
	通信会社 (営業担当)	販売量の動き	・特に4月後半は、販売台数が減少している。競合他社の販売量も減少している。
	その他サービス [語学学校] (経営者)	販売量の動き	・これまでは入校者数が退校者数を上回っていたが、今月は開校以来初めて、退校者数をカバーできていない。
	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・持家を取得するよりも増改築で済ませたいという客が増加している。

	悪く なっている	美容室（経営者）	来客数の動き	・客の来店周期がかなり長くなってきている。	
		美容室（経営者）	来客数の動き	・ヘアカラーなど、客が自分でできることは美容院ではしなくなっている。	
企業 動向 関連	良く なっている	企業広告制作業（経営者）	競争相手の様子	・停滞ないし下向きというムードは全くない状況である。	
	やや良く なっている	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・先月に引き続き、自動車関連や複写機関係からの受注が盛んである。	
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・原材料、石油製品類の値上げがあったが、受注量、販売量とも良い状況が続いており、カバーできている。	
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	取引先の様子	・不況期に経営不振が続いた個人経営の飲食店からも、売上増加の話も聞いている。	
		窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・品質面の競合で受注を失った案件もあるが、取引先の増産により受注量が2倍以上になったものもあり、全体としては増加している。	
		一般機械器具製造業（経理担当）	それ以外	・当期決算では、売上は目標をほぼ達成しており、利益も予想を上回っている。	
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・家電関係は減少傾向にあるが、重電、設備関連の製品が安定して動いている。以前に比べると微増にとどまっているものの、全体的には良くなっている。	
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・4月に受注した分の粗利率は、前年同月比でやや良くなっている。	
		電気機械器具製造業（企画担当）	それ以外	・販売量は堅調である。	
		輸送用機械器具製造業（統括）	受注量や販売量の動き	・主力取引先からの受注量が徐々に増えてきている。	
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・中部地方の貨物需要はかなり強い。特に海外への輸出が強くなっている。	
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・多くの取引先で決算状況は改善している。ただし、売上増加によるものではなく、費用削減の成果である。	
		公認会計士	それ以外	・顧客先企業では業績が向上している。賞与金額も増加に転じている。	
		経営コンサルタント	取引先の様子	・駅前の商業地域では、売出し中の物件が減ってきている。地価も、下落から上昇に転じる兆しが出てきている。	
		会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・当期決算は、多くの顧客先企業で黒字もしくは前年度比で赤字幅が減少している。売上も増加している。	
		変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上、経常利益とも増加しているが、微増にとどまる。
			電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内販売は動きが出てきて売上はやや増加であるが、輸出は米国向けで一服感がありやや減少である。全体としてほぼ横ばいとなっている。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・引き続き大量の受注残を抱えており、新しい仕事が入る余地がないほどである。	
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・設備投資の動きは、引き続き活発である。	
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・前月はトラック貨物に非常に活発な動きがあったが、4月に入ってから荷動きは緩慢になっている。	
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・1日の平均取扱荷物量は確実に増えているが、運賃が抑えられており、収入は荷物量に比例して増えない。	
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・取引先企業の投資意欲に大きな変化はない。	
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・小さな案件の発注は増えているが、全体的にはあまり変わらない。	
	やや悪く なっている	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、見積件数とも、全く振るわない状況にある。	

		一般機械器具製造業（販売担当）	受注量や販売量の動き	・主要販売先の米国で設備投資が活発でなく、受注のない日々が続いている。	
	悪くなっている	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が減少していることに加えて、原材料価格の高止まりも続いている。	
雇用 関連	良くなっている	-	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・企業の採用が積極的になり、需要は増加している。その反面、登録スタッフを募集しても人数を目標通り確保できず、人材確保に苦労している。	
		人材派遣業（経営企画）	周辺企業の様子	・エンジニアに対するニーズは堅調であり、採用意欲も高い。	
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・派遣需要は減少傾向にあるが、正規社員の採用意欲の高まりが背景にあり、全体としては良くなっている。	
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・転職求人は全体的にはやや落ち着いてきている。しかし、製造業が中心の地域では、まだまだ極めて活発な動きがある。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・大手自動車メーカーのグループ各社からの期間工募集が堅調であることに加えて、一般求人も増えている。	
		職業安定所（所長）	求職者数の動き	・全体の求職者数が減少傾向にあるなかで、より良い条件を求める在職求職者の割合が高まっている。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数が増えている。ただし、正規社員の求人よりも非正規社員の求人の増加率のほうが高く、派遣求人が全体の半分以上を占めている。	
		職業安定所（管理部門担当）	求人数の動き	・新規求人倍率は依然として高水準で推移している。求人事業者にとっては人手不足が続いている。	
	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・金融業を筆頭に、他の業種でも求人数は引き続き高い水準を維持している。		
	変わらない	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・4月に入り、派遣、人材紹介の注文は減少傾向にあり、登録者数は逆に徐々に増加し始めている。	
		人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・年度初めに欠員が出ていても増員しない企業が多く、現状維持の状況である。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・企業の人材不足は続いている。業務の大幅拡張に伴う大量の求人申込は少ないが、有効求人数は10か月ぶりに前年同月を上回っている。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・しばらく募集がなかった事業所でも求人するなどの動きはあるが、雇用の拡大までには至っていない。	
		やや悪くなっている	-	-	-
		悪くなっている	-	-	-